

キーワード：歩行, 審美性, 運動学的特徴, 印象評価

齋藤 早紀子 (運動機能拡張研究チーム, 日本工業大学), 小林 吉之 (運動機能拡張研究チーム)

## ■ 研究の背景

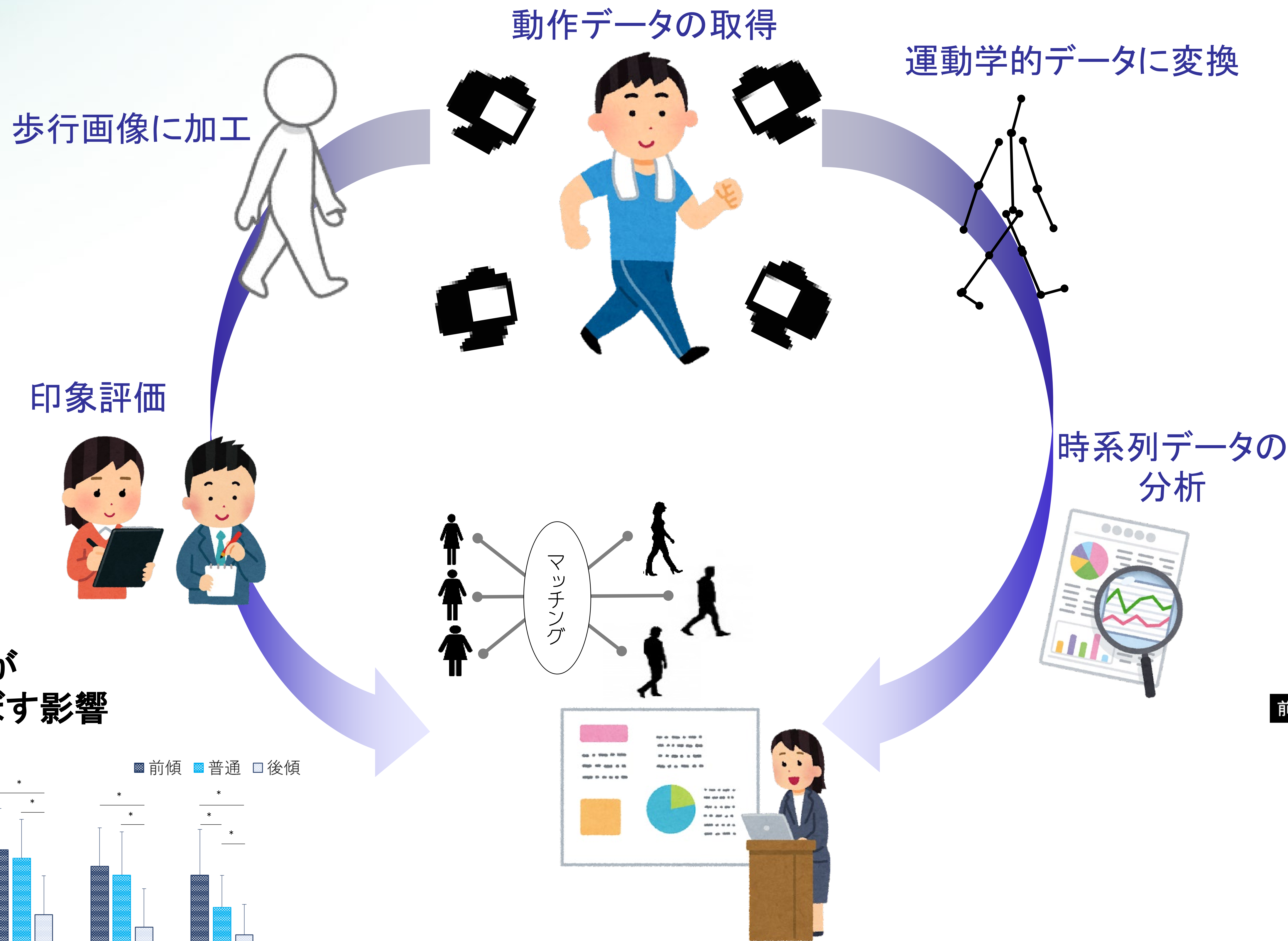
- ◆ 見た目の審美性への高い関心 → 健康を害する危険性 (例えば, 摂食障害患者 > 21万人)
- ◆ 動作の違いが, 見た目の印象を変えうる (Cazzato et al. 2012; 菅原ら 2018)
- ◆ 魅力的な歩き方への関心の高まり: 歩行トレーニング (Li & Hong, 2007), 2足歩行ロボット (Pratt & Krupp, 2008)

## ■ アプローチ法とこれまでの取組み

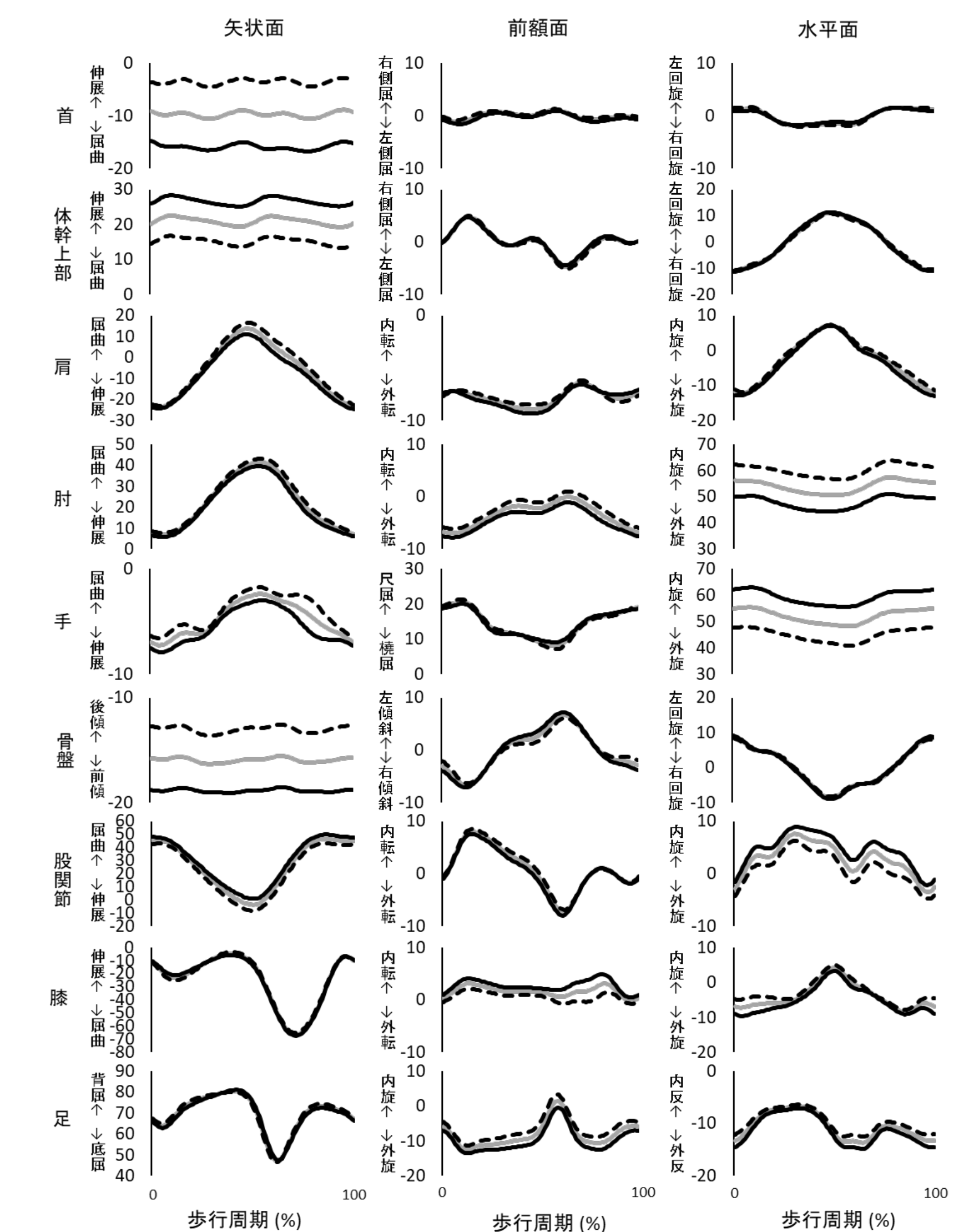
### 観察者の印象の因子構造

第1因子	綺麗である 美しい 0.698, 好印象である 0.697, 優雅である 0.674
第2因子	勢いがある 元気そう 0.764, 迫力がある 0.682, 派手 0.617
第3因子	女性らしい 女性らしい 0.644, 男性らしい -0.688
第4因子	疲れているような 足取りが重い 0.670, だるそう 0.663
第5因子	子供っぽい 子供っぽい 0.709, まっすぐ歩いている -0.506, ペンギンみたい 0.481

齋藤, 小林ら 2020

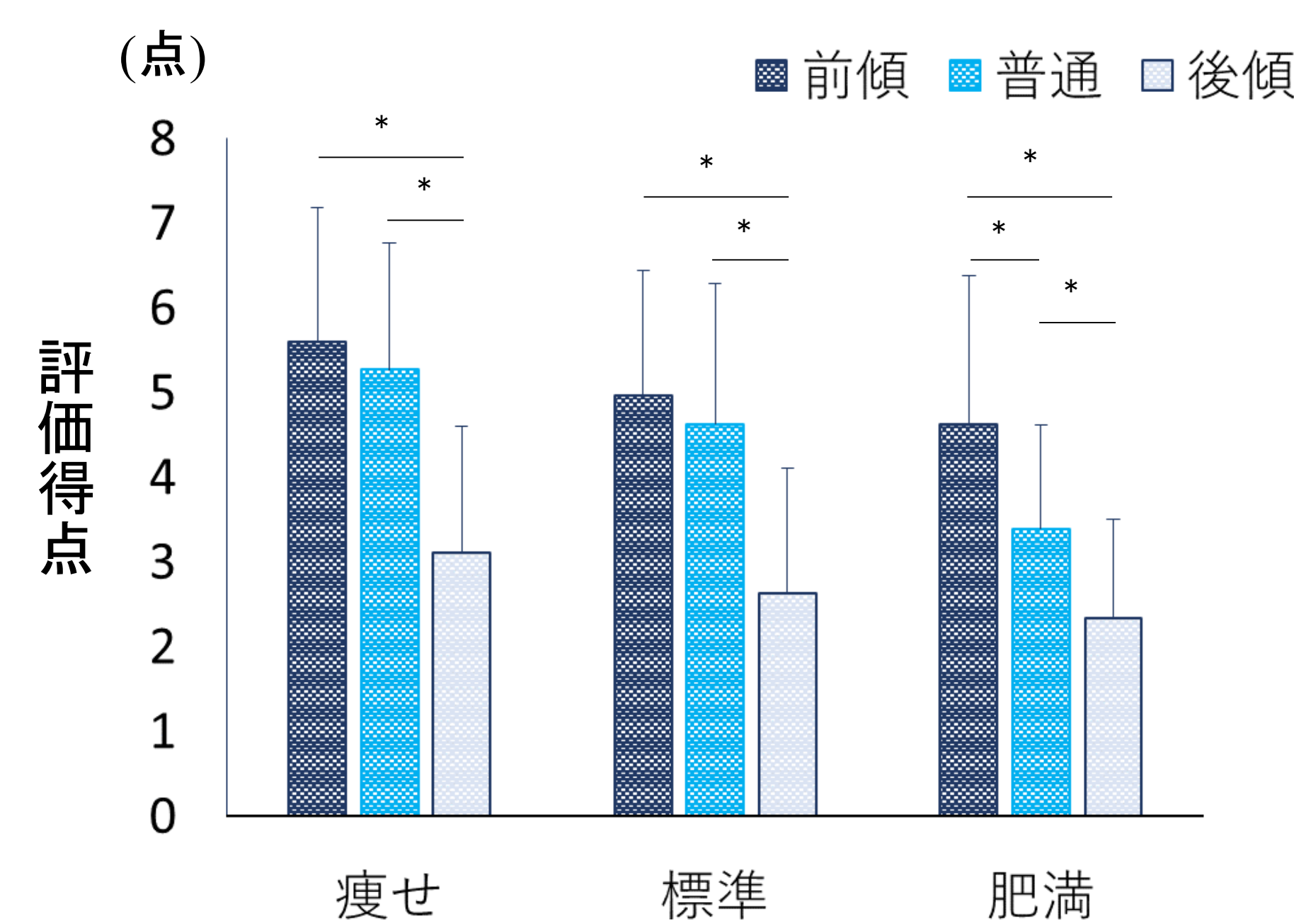
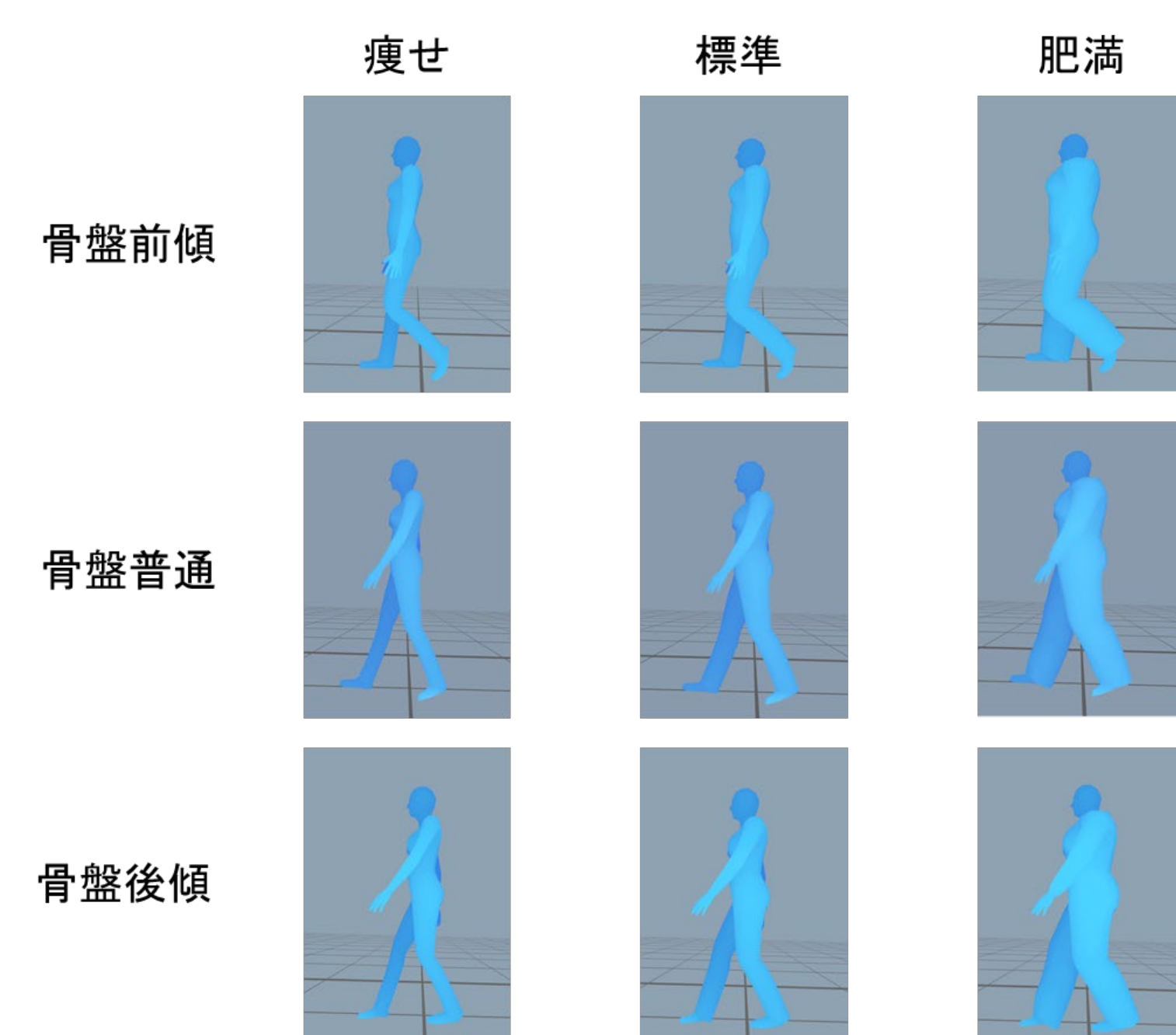


### 審美系活動者の歩容特徴



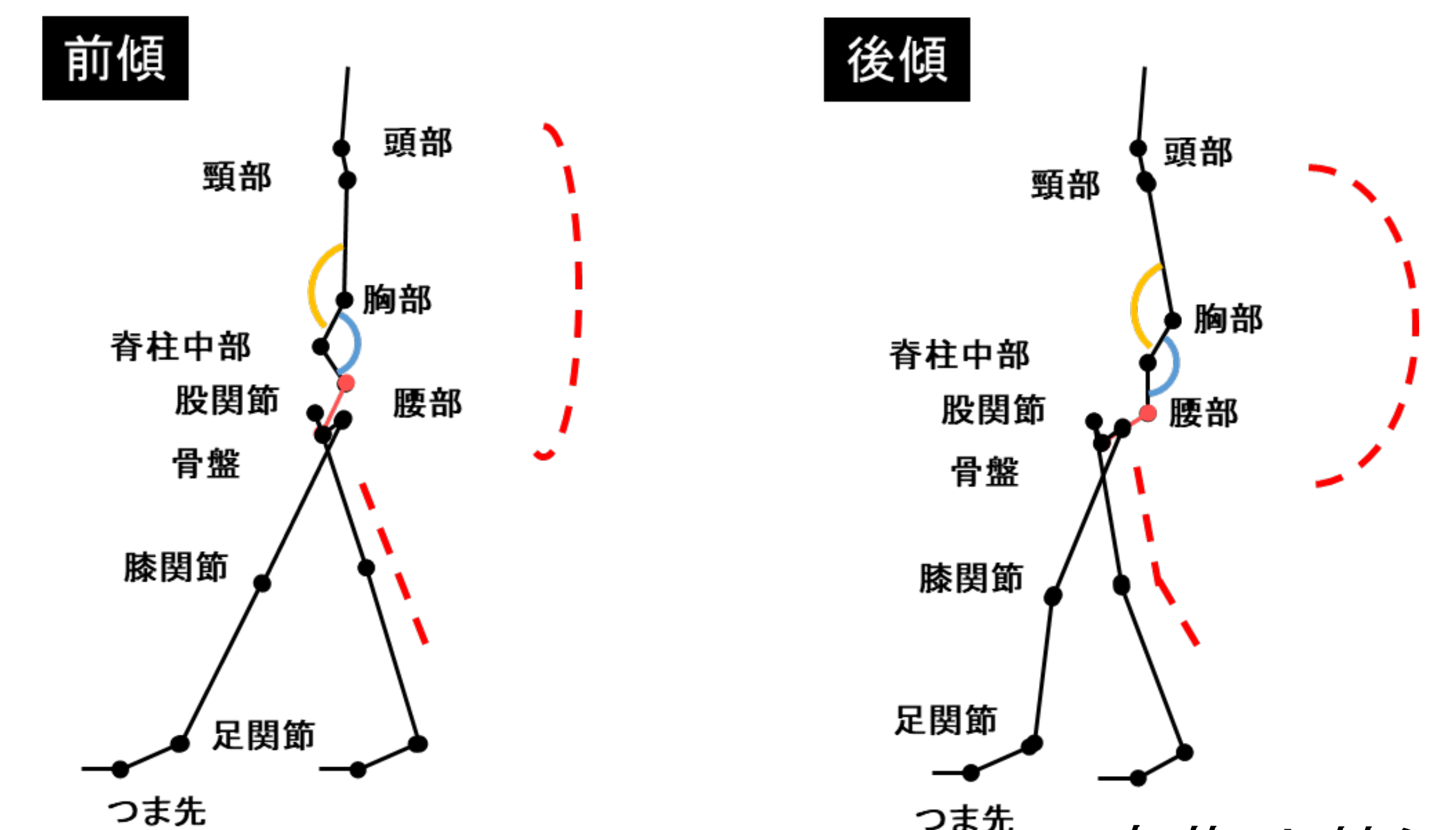
齋藤, 小林ら 2020

### 体型と歩行パターンの違いが観察者の審美的印象に及ぼす影響



齋藤, 小林ら 2022

### 骨盤の前後傾角度と歩行中の身体各部位の角度



齋藤, 小林ら 2022

- ◆ 魅力的な歩行の多角的視点からの理解
- ◆ 個人にあった動作の提案
- ◆ 目的の動作を体現するためのトレーニング法の提案



連絡先：人間拡張研究センター  
harc-liaison-ml@aist.go.jp